



担当課が市役所の何階にあるか明記して

市の発行する広報や各課の出す案内書などの問い合わせ先には、課名と電話番号しか載っていません。庁舎名と階数も載っていれば、案内板で探さなくて済みます。特に窓口で対応しますと言うときは場所を明記してほしいです。

(大井町・河瀬さん)

答

広報えな紙面では、各記事に必ず問い合わせ先として、課名と電話番号(内線番号)を明記するようにしていますが、各課の場所までは記載していません。今後、お客様の来庁を前提とした内容の記事には、庁舎名とフロア(階数)を併記するように心掛けます。

(広報広聴係)

市内学校給食の食材は安全ですか

先日、カレーチーンが廃棄した食材が産廃業者から食品会社に横流しされたというニュースがありました。スーパーや弁当業者、給食関係など多くの業者に影響が出ているようです。

市内の小中学校の学校給食に使用する食材の納入に、今後影響が出るリスクは考えられますか。現状では問題となるような影響は見られませんか。

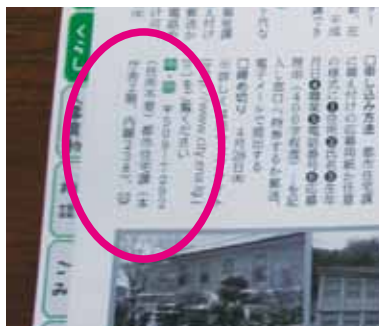
(岩村町・浅見さん)

答

本市の学校給食センターでは、指摘の業者からの納入はありません。使用する食材についても、見本品と配合表を取り寄せ確認した上で決定しています。納品時には提出した配合表と現物を確認し温度や産地、賞味期限、異物混入がないかを確認し使用しています。

当センターでは、安全・安心な給食を提供するために職員一同努力しています。今後ともよろしく願います。

(学校給食センター)



▲課名の後に庁舎名と階数を明記

ひし屋資料館に標識と駐車場を

中山道ひし屋資料館の標識を、「御所の前」交差点に付けてもらえるようお願いします。遠方から来た方から、よく道を聞かれる事があります。駐車スペースもないので、一考をお願いします。

(大井町・匿名)

答

御所の前交差点に中山道ひし屋資料館への案内標識を設置することについては、県道であるため、関係機関と調整を行い進めたいと考えています。駐車場は、大井町自治会館駐車場が利用できる他、少し離れますが駅西駐車場を利用できます。駐車場の場所についてはパンフ

夜中にサイレンを鳴らすなら説明を

レットに表示するなどの周知を行います。

(生涯学習課)

2月19日午前3時ごろ、山岡町田代地内で集落センター防災無線と家庭内の音声告知器でサイレンのみが放送されましたが、1回目のサイレンでは説明がなく、2回目です。

説明がないのならサイレンを鳴らさないでほしいと思います。何の関係もない人が朝早くから起こされて、光熱費がかかるだけです。市役所へ問い合わせの電話をしても、宿直の方も分からなくて、回答がありませんでした。

(山岡町・匿名)

答

深夜に迷惑をお掛けし大変申し訳ありませんでした。

指摘のありました2月19日午前3時ごろに鳴ったサイレンは、岩村町で発生した建物火災の消防団召集サイレンです。このサイレンは火災発生時に機械で自動的に流れるも

ので、本来ならサイレンに引き続き音声での火災発生のアナウンスが流れるのですが、何らかの理由によりサイレン後のアナウンスが流れませんでした。

今後とも消防への理解と協力をよろしく願います。

(消防課)

交通の便を良くし事故防止と生活改善を

高齢者による交通事故が増加しています。過疎地では交通の便も悪く、高齢者の買い物や外出が制限されます。事故の抑止と生活改善のために公共交通利便性の改善を望みます。

また中野方町がやっている小型のマイクロバスやタクシーを利用した巡回サービス「おきもり」のように、地域の現状に即した公共交通機関の導入も検討してほしいです。

(岩村町・浅見さん)

答

市内の公共交通の取り組みは、明知鉄道沿線地域公共交通網形成計画に基づいて行っています。

たに市営墓地を整備する計画はありませんので、お住まいの近くの寺などに相談ください。市営墓地の空き状況や民間が経営する墓地については市に問い合わせがあれば情報提供します。

(市民環境課)

おくやみなどの告知放送が聞き取れない

市内の広報についてですが、男性の声は良く聞き取れます。しかし女性の声は、私の年齢のせいか聞き取れません。顔が見えないので、もう少しゆっくりと大きな声で言ってもらえると助かります。おくやみなどは特に、もう一度繰り返してほしいです。

(山岡町・加藤さん)

答

放送の声が聞き取れないということ、申し訳ありませんでした。今後は放送の内容が市民の皆さんに分かりやすく伝わるよう、ゆっくりはつきりを心掛けます。なお、おくやみは現在も繰り返して放送しています。

(山岡振興事務所)

防災士の資格を持つた人の活躍の場は

防災士の資格を取ったはいけれど、実際に現場で生かす機会がなかなかないという話をテレビで見掛けました。当市では、防災士の資格を持った方が地域で防災・減災チームリーダーとして実践できるような機会や計画は検討されていますか。

(岩村町・浅見さん)

答

本市では平成22年度から防災リーダーの育成を実施しており、27年度までに248人の方を養成しています。

防災リーダーは、避難所開設時の手伝いや自治会への防災リーダーの名簿の提供を行うなど、必要時に地域から要請を受けて活動しています。

また防災知識や技術向上のためのフォローアップ研修や、行政からの防災情報の提供を定期的に行っています。こうした取り組みを継続することで、防災リーダーの方が地域で活動する機会が増えると考えています。

(危機管理チーム)